



# 柏原中だより

令和2年 5月号 狭山市立柏原中学校

〒350-1335 狭山市柏原2520-11 TEL04-2954-5073 生徒数 250名

<学校教育目標> 今を精いっぱい生きる・凡事徹底 ○希望を持って進む生徒

## 臨時休校の中での年度替わり

校長 井堀広幸

保護者、地域の皆様方には、新型コロナウイルスの感染拡大防止にご理解とご協力をいただきありがとうございます。年度替わりをまたぎ、1か月ずつ、2か月が過ぎました。学校教育にとっては、一番大きな節目であり、年度のまとめをし、心持ち新たに新年度をスタートさせるところですが、それができない状況を、たいへん心苦しく感じているところでもあります。

さて、そのような状況の中で、学校では臨時休校が延びるたびに、県や市の指導をもとに、来る学校再開に向けて、授業時間数の確保や学校行事の精選等について準備を行っているところです。これまでの授業時間数を取り戻し、今年度の年間授業時数を保障するために、夏季休業の一部や5月～7月の第4土曜日を授業日として実施していく予定です。詳しくは、後日通知いたします。

こうした中で、「卒業式」ならびに「入学式」が挙行できました。各ご家庭のご理解・ご協力にあらためて感謝いたします。

## 第38回 卒業証書授与式を挙行～卒業生と職員のみ～ <3月14日(土)>

県公立高等学校の学力検査直後の3月2日(月)から臨時休校となり、3月9日(月)の合格発表日、卒業アルバムや記念品を配布のために登校した3月12日(木)・13日(金)を経て、3月14日(土)に卒業証書授与式を迎えました。

春にしては冷たい雨が降るあいにくの天気でしたが、卒業生、教育委員会からの来賓1名と教職員だけでの式を挙行しました。卒業生は、1回も練習をしていないにもかかわらず、思っていたよりもたいへんよくできました。これまで2回、上級生の卒業式を経験しただけあると感心しました。生徒会長で在校生代表の〇〇〇〇くんが壇上で述べるはずだった「卒業生を送る言葉」は、予め録音して音声で流しました。その中で、「先輩方、物事に率先して取り組もうとする姿を忘れずに、柏原中学校を引っ張っていけるよう頑張りたいです。」と卒業生の姿勢から学んだことを述べました。卒業生は耳を澄まして一生懸命聴いていました。次に、卒業生代表の前生徒会長、〇〇〇〇さんが、「卒業生別れの言葉」の中で、3年間を通じてみんなで努力し、中学生として、最高学年として立派に成長し、数々の行事を成功させてきた成就感や満足感を、切々と語ってくれました。そして、最後のほうで、〇〇さんの号令で卒業生全員が起立して教員席のほうを向き、声をそろえて「ありがとうございました。」と感謝を伝えてくれました。職員一同、誠に教師冥利(みょうり)に尽きる思いでした。その後、一度卒業生が退場したのち、改めて体育館で、本来予行の時に行う予定だった表彰式等を行い、三送会のために在校生が作った薬玉(くすだま)を割って卒業を祝いました。

本校の卒業生として、益々次の場所で活躍してくれるよう期待しています。



卒業生別れの言葉



卒業生の歌



お祝いの薬玉(くすだま)

## 第39回 柏原中学校 入学式・始業式を挙

＜4月8日(水)＞

穏やかな晴天となった4月8日に、柏原中学校、第39回入学式を、保護者の方々のご臨席のもとに挙行いたしました。校庭側の桜や色とりどりの花も、男子41名、女子32名、計73名の新入生を出迎えてくれました。式の「新入生呼名」では、一人一人の返事とともに、たいへん丁寧な礼が印象的でした。生徒会長の〇〇〇〇くんが「新入生を迎える言葉」の中で、「皆さんが一日も早く中学校生活に慣れ、有意義な生活が送れるよう、在校生一同心より応援します。」と語りかけると、新入生代表1年1組の〇〇〇〇くんが「新入生誓いの言葉」の中で、「柏原中学校の生徒として誇りを持ち、実りある中学校生活を送りたい。」と応えました。新入生たちは、式での緊張もほぐれ、各教室で初めての学級活動を行い、担任の話に耳を傾けていました。

入学式後、在校生の始業式を行い、生徒たちは各教室で校長式辞を放送で聞きました。その後、新しい担任との顔合わせを行い、学級活動の中で教科書等も配布されました。



新入生を迎える言葉



新入生誓いの言葉



1年1組 36名



1年2組 37名

令和2年4月8日(水)に挙行した入学式での校長式辞を掲載します。

### 式 辞

色とりどりに花が咲き、木々も一斉に芽吹き始め、まさに、春爛漫の季節を迎えました。七十三名の新入生の皆さん、ご入学、おめでとうございます。

本来であれば、皆さんのご家族、地域のご来賓をお招きして入学を祝福するところではありますが、緊急事態宣言の中、保護者の皆様だけではあります、ご臨席を賜り、入学式が挙行できますことに、感謝申し上げる次第でございます。

さて、新入生の皆さんが、二月七日に、ここ柏原中学校に体験入学に来た時、音楽室で、小学校と中学校の一番の違いを、皆さんにお話ししました。覚えていますか？ その時、私が皆さんに伝えたのは、中学校では、自分の進路を自分で決めることが、小学校にはない違いであるということです。

そこで、新入生の皆さんに、今日覚えてほしい言葉があります。それは、「自己実現」という言葉です。自己実現とは、自分の夢や希望を一步一步、実現させていくことです。中学校卒業後、高校などの上級学校に進学するのも、自己実現の過程です。夢や希望が途中で変わっても、自己実現のためにした努力は、皆さんの生きる力となり、どんな夢や希望の実現にも、きっと役立ちます。そのために、失敗を恐れず、いろんなことに挑戦してください。そして、柏原中学校で、大いに活躍してください。先生方は、皆さんが活躍する場を、たくさん用意しています。活躍といっても、どんなに小さなことでもいいのです。日々の授業も活躍の場です。当番活動や係活動、生徒会活動や委員会活動、部活動、そのほかに、中学生を対象とした、様々な大会やコンクールなども無数にあります。

皆さんの挑戦を、また活躍を、そして自己実現を、皆さんの上級生や先生方で、温かく、時には厳しく、支援していきます。何か心配や不安なことがあったら、一人で抱えずに、必ず誰かに相談してください。

結びに、保護者の皆様、お子様のご入学を心よりお祝い申し上げます。また、本日はご臨席いただき、誠にありがとうございます。新型コロナが終息し、生徒たちが、また伸び伸びとした学校生活を取り戻せた時のために、教職員一同で万端の準備をしてお待ち申し上げます。引き続き、各ご家庭の皆様の健康をご祈念申し上げ、式辞といたします。

令和二年四月八日

狭山市立柏原中学校 校長 井堀 広幸